

2019 年度夏季海外研修（中国語・中国文化コース）研修レポート

社会福祉学部 Nさん

行って良かった。そう心から思える海外研修だった。中国にいた14日間は終わってみればあっという間だったが、普段とは違った様々な体験をし、とても密度の濃い時間を過ごすことができた。そして研修を通して視野が広がり、今後の勉強や大学生活に対する考え方の変化もあった。研修の思い出はここでは語り切れないので、これから中国研修に行こうと考えている人に特に伝えたいことを書いていきたい。

まず、授業について。これは私が研修前一番心配していたことだ。なぜなら私は中国語ができないどころか、英語もかなり苦手だからだ。授業はすべて英語で行われると聞いていたので、まず授業の内容についていけるか不安だった。しかし、結論から言うと授業についていく分には問題ない。どの授業もわかりやすく、楽しんで受けることができたし、わからなかったら後で個別にも対応してもらえた。授業はリスニング、発音、文法、漢字の4つがあり、特にためになったのは発音の授業である。私たちは一番初級クラスの一班だったのだが、そこでは一つ一つのピンインの発音方法から教わることもとても勉強になった。また、同じ文章や単語を繰り返し練習したり、一人ずつ発音しその場で先生からアドバイスをいただいたりする機会もあり、以前より正しい発音が身についたと感じる。もちろん研修前にある程度勉強をしていくのは大事だが、このように熱心な先生方が基本から教えてくださるので、中国語や英語に自信がなくてもあまり心配せずに、意欲を持って行ってきてほしい。

次に、観光についてだ。研修中の平日は、午前中が授業で午後は自由時間だったのと、今年は祝日が一日あったため、私たちは北京市内の様々なところへ観光をしに行くことができた。地下鉄で大体の観光地へ行くことができ、乗り換えも慣れれば楽にできたので、基本移動には地下鉄を使った。そして、万里の長城や天壇公園などの歴史遺産を見に行ったり、動物園にパンダを見に行ったり、街で買い物をしておいしいものを食べたり、カンフーショーを見たりと、とにかくいろいろなところへ行き、全身で中国文化を体験してきた。私は今まで歴史に対する関心が高いほうではなかったが、様々な歴史遺産を見たことで中国や世界の歴史についてもっと勉強したいと思った。また、街へ出ることで多くの人や物、言葉に触れ、日本との違いなど多くの発見ができるため、時間があるときは積極的に遊びに行ってみるのがおすすめだ。ただし、中国の観光地は想像以上に広く歩き回ることも多いので注意した方が良く、学生証で入場料が割引になるところが多いので、学生証は早めに手に入れ持ち歩くことをおすすめする。

食事については、価格も安くおいしいものが多く、私はとても気に入った。心配していたおなかを壊すということもなかった。中国語のメニューが読めなかったので毎回写真を見るか雰囲気良さそうなものを選んでいたので、たまにとっても辛いものに当たったり想

像と違う味に出会ったりすることもあったが、それも思い出である。今度中国へ行くときにはメニューが読めるように、もっと勉強したい。

最後に、中国でお世話になった人たちについてだ。研修では、現地に詳しい人と仲良くなることをおすすめする。私たちは研修期間中、日本語が話せる現地の学生と仲良くなり、たくさん助けてもらった。彼らは私たちが迷子になったときに道を教えてくれたり、現金しか支払い手段がない私たちの代わりにQR決済をしてくれたり、ちょっとしたトラブルがあったときに中国語の通訳をしてくれたり、他にも色々、本当に良くしてくれた。また、何度も一緒にご飯や遊びに行ったり、みんなで部屋で話したりゲームをしたことは、一生忘れない思い出になるだろう。私たちの充実した中国研修は彼らの存在のおかげでもあり、感謝の気持ちでいっぱいだ。彼らの他にも、中国で日本語を学ぶ学生と食事をしたり月餅を作ったりする機会もあり、お互いの国の文化を学び合いながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができた。

何事も、やってみたいと思った時が絶好のタイミングだ。少しでも興味を持ったら中国研修に挑戦し、ぜひ中国の魅力を感じてきてほしい。きっと中国に対するイメージや、自分の考え方なども変わるだろう。

社会福祉学部 Oさん

私はもともと中国に興味があり、中国語を学ぶこと、そして中国の雰囲気や文化を体験することを目的として今回の研修に参加しました。実際、中国での2週間はとても充実したものとなりました。

授業に関しては、リスニング、発音、文法、漢字の4つの授業があり、授業によって先生が変わりました。英語で教えてくれる先生と中国語で教えてくれる先生の2通りいましたが、どの先生も分かりやすく教えてくれるため、難なく授業は理解できました。発音に重点が置かれており、先生が一から正しい発音を教えてくれます。改めて、中国語の発音の大切さを実感しました。Wechat でクラスのグループを作り、それを使って課題を提出する授業もありました。私はWechatのアプリが普通に入れられたので難なく課題を提出できましたが、周りの友人の中にはWechatが使えなくなってしまった友人もあり、とても不便そうでした。ですので、これから中国に行こうと考えている皆さんには、日本にいるときからアプリを入れ、中国で問題なくWechatを使えるようにしておくことをおすすめします。

私達は初級クラスの1班に入りましたが、そこでは様々な国から来た留学生がいました。アメリカ、韓国、ドイツ、ガーナ、タイ、ブラジルなど本当に様々です。そのため、クラス内での公用語は英語であり、授業外では英語を使ってコミュニケーションしました。ですが、自分の英語力の無さを痛感させられました。せっかく国際交流の場にいるのだから様々な国の人と友達になって交流したいと思いましたが、自分の英語力に自信がないためなかなか自分から話しかけに行くことができませんでした。やはり、外国に行くときはどこへ行くにしても英語力は大切だと改めて痛感させられました。

次に、文化の違いについてです。中国ではキャッシュレス化が進んでおり、QR決済が主流のため現金での支払いが不便でした。現金がダメというところはほとんどありませんが、コンビニなどでレジに十分なお釣りが無くちょうどに払うように言われたり、地下鉄の切符を買うときにぴったり現金を入れないと買うことができない、という場合があります。QR決済を使うには現地銀行との契約が必要であり、それはほぼ不可能だったので現金で何とか頑張りましたがやはり不便でした。私は日本に中国の友人がおり、その友人のWechatアカウントを借りてWechatペイを使えるようにしてもらっていたので、本当に現金での支払いが厳しいという場合のみ、みんなから現金を徴収して友人の分もWechatペイで払うようにしました。誰か1人でもQR決済ができる人がいると安心だと思います。

また、地下鉄では現金にカードをチャージして使えるスイカのようなものがあり、それを現地の日本人留学生の方に作ってもらいました。それがあれば毎回切符を買う必要が無く、とても移動が楽になったのでおすすめです。

寮に関しては、2人部屋で、それぞれの部屋にトイレとシャワーも付いていたのでとても過ごしやすかったです。毎日、私達が授業を受けている時間帯に清掃員の方が部屋を掃除してくれて、まるでホテルのように快適でした。ですが、洗濯機だけは、専用のアプリを入れてQRコードを読み取らないと使えないものだったので毎回留学生の方にお問い合わせするのが不便でした。それでも、国際寮なので様々な国の人がいるのがとても新鮮でしたし、外国人の友人ができて楽しい日々を送ることができました。

午前中はみっちり授業があり、午後はほとんど自由時間だったので、午後は毎日観光しました。北京動物園や万里の長城、天壇公園など様々な観光地を巡りました。残念だったことは、今年がちょうど中国の建国記念日70周年だったので、天安門がその記念式典の練習に

使われており、入ることができなかったことです。しかしながら、たくさんの観光地に行き、中国の魅力に触れることができ、充実した時間を過ごすことができたと思います。

今回、中国研修に参加したことでたくさんの収穫がありました。カルチャーショックも多くあり、新たな発見もありました。中国研修に行って良かったと思えることは、自分の価値観が広がったことです。中国に行ってみないと分からないこともたくさんありましたが、様々なカルチャーショックを感じたことで自分の中の視野も広がりました。そして、語学学習に対する意欲も高まったと思います。とても密度の濃い2週間を過ごすことができ、嬉しく思いましたし、これからもっと語学学習を頑張ろうと思いました。

1. はじめに

私が中国研修を志望した理由は、私は高校時代から中国の唐代の文化に興味があり中国文化について深く学びたいと考えたからです。今回の中国研修では中国語の語学力向上とともに中国文化を現地で感じる事ができればと思い参加いたしました。

2. 中国について

● 中華人民共和国

- ・首都：北京市
- ・人口：13億9538万人
- ・面積：9,634,057km²
- ・公用語：中国語
- ・通貨：人民元(CNY)
- ・現国家主席(2019年10月現在)：習近平

中国は現在アメリカに次ぐ第2位の経済大国である。また、キャッシュレス化が進んでおり現金を持ち歩く人をあまり見かけなかった。中国ではインターネット規制がされており世界で主要な検索エンジンやSNSはほとんど使えない。そのため、中国で規制されているネットワークを中国で使いたい場合にはVPNや特別回線のWi-Fiが必要である。

3. 中国伝媒大学

● 授業について

今回の研修では中国伝媒大学に滞在した。午前中に授業を行い、午後は自由時間だった。私たちはレベル1の留学生クラスに振り分けられた。クラスにはアメリカ人、ドイツ人、ポーランド人、カナダ人、ブラジル人、オーストラリア人、韓国人など多くの国の人がいた。授業はすべて英語で行われる。授業の内容はリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの四つの教科であった。どの授業でも発音を繰り返し練習した。しかし、漢字の授業は少し簡単で、もう少し上のクラスでもよかったと思った。授業での発言が活発で私が黒板に書いた漢字に全力でいちやもんをつけてくるポーランド人もいた。日本とは違い自ら意見をだし自主的に学習する態度が伺えた。日本もそうなればいいと思った(切実に)。

● 学食

お昼は大学の外に食べに行ったりしていたが校内の食堂で食べることもあった。中国伝媒大学の学食は安くおいしかった。一食10元~25元くらいで食べることができた。ただし、ごはん系はおいしいが、麺類ははずれが多い。F田は麺で毎回失敗していたのにも関わらず懲りずに挑戦していた。おいしい麺に出会うことはできたのか結末はF田のみぞ知る。失敗するのもいい経験である。貢茶が学食内にあって驚いた。日本ではタピオカごときに長蛇の列をなしているが中国では並ばず日本の値段の約三分の一の値段で食すことができた。しかも日本より遥かに美味しい。日本の女子たちのタピオカへの価値付与は異常と思うほかなかった。タピオカ好きの女子たちに言いたいタピオカが好きなら中国に行けと。学食では県大でいう生協カード的なプリペイドカードとWeChat Payのみの支払いだったので会計はそこら辺にいる学生を取っ捕まえて立て替えてもらい後で現金でかえした。このようなことを行っていたため、たくさんの人と話すことができた。何事も度胸が大切である。

● 日本語学部の方々との交流

現地の日本人留学生の仲介で中国伝媒大学の日本語学部の方々と食事会をすることができた。日本語学部の方々は日本語がとても上手で英語を学んでいる国際文化学科の人間と

して恥ずかしかった。アニメ好きの方が多く、私と話が合う学生が多くいた。その方々達と WeChat を交換してたくさんのお話をすることができた。日本でアニメ好きを公言すると馬鹿にされることがあると話す、「隠す必要はないし、好きなものは好きと言うことの何が悪いの？日本のそういった文化は理解できない」と言われた。私もまったくの同感である。私をヲタクと言って罵った中学の同級生はこの精神を見習うべきである。

● 寮について

寮では 2 人 1 部屋であった。部屋にはそれぞれにベッドと机があり、バスルームがついていた。普通にきれいであった。はじめはもう少し汚いと思っていたがきれいで驚いた。しかし、その感動もつかの間であった。私達は 3 部屋に分かれたのだが 3 部屋全てに異常があった。私の部屋はエアコンが仕事を放棄していた。スイッチを入れてエアコンをつけるが 5 分とたたず消える。何回やろうとエアコンは仕事をやる気はなく、笑うしかなかった。最早笑い話として昇華された。F 田の部屋は天井からの雨漏りがあった。その雨漏りというのが上の階の人がトイレの水を流すと共に起こったらしいのだが、その意味はあまり考えたくはない。A さんの部屋には大きい虫 2 匹の死体がいつの間にか落ちていた。A さんの血相を変えた連絡に私と F 田は死体処理に向かったが、1 匹生きていて騒ぐしかなかった。このような問題を許容することができれば住み心地の良い寮であった。

4. 観光

中国は地下鉄が安く 3 元～10 元くらいでどこまでも乗れた。そのため、たくさんのお観光地に訪れることができた。また、中国が今年建国 70 周年だったらしく軍事パレードの演習のため天安門に行くことができなかった。

● 北京動物園



北京動物園では生のパンダを見てきた。本物のパンダを見るのは初めてだったので興奮した。パンダのカチューシャを買ってつけて歩いていたらたくさんの人はどこで買ったのか聞かれた。おそらく子供がせがんだのだろう。

● 円明園



F 田おすすめの円明園！高校の世界史の教科書に載っているらしい。アロー戦争で破壊された西洋風の庭園。高校の担任(世界史教師)に自慢して、かつ写真を売りつけようと思う。

● 天壇公園



永楽帝が建立したとされる皇帝が天を祭るための儀式を執り行う場所。とても壮大で面積が広く皇帝の権威が伺えた。とてもスピリチュアルな場所で心が洗われる気がした。

- 万里の長城



流石実際に行って後悔すると言われるだけあった。こうかいした。女坂を登っても傾斜が急だったので男坂は最早、直角なのではないかと思う。来年研修に行く後輩に伝えたいのは行っても何もないということだ。しかし、達成感は手に入れられるかもしれない。行くことは切実にお勧めしない。

- 頤和園



中国の歴史ある庭園の一つ。世界遺産にも登録されている。中に入ってみると古風な建物が多く立ち並んでいた。非常にインスタ映えする公園である。また、お土産を買う店も出ておりF田が詐欺とまでいかないがぼったくりにあった。自分の名前を書いてくれる店には要注意。

- 南鑼鼓巷



日本でいう原宿。たくさんのお店が並んでいてどれも安くて可愛かった。私が食べたアイスもウサギの顔をしていてとても可愛く、食べるのがもったいなかった。

5. 来年研修に参加する後輩に向けて

- ティッシュはたくさん持って行ったほうが良い

中国はトイレットペーパーのあるトイレが少ないので大量に持って行ったほうが良い。おしぼりや台ふきもないのでウェットティッシュもあったほうが良い。

- 英語頑張ったほうが良い

中国語は発音が難しいので通じないことが多かったため、英語で会話をする事が多くあった。また、留学生クラスに入るため会話は全部英語で行われる。他の国の学生と交流するには英語が必要不可欠である。なにより英語ができないとすごく困った。

- 日本人だけで固まらない

異文化交流は積極的に行ったほうが帰ってきてから自分の力になる。特に小論文にかけることが増える。

- 要注意

中国に行くとかかなり濃いメンバーに囲まれる。イケメンくず、変態紳士、毒舌チンパンジーがいるのでメンタルを強く持って、どんなことにも動じないようにしていたほうが良い。今あげた3名はかなり濃いメンツなので要注意だ。

6. まとめ

今回中国研修に参加したことによって、今までにない経験ができた。最初はとても不安だったが充実した2週間を送ることができた。北京空港に迎えに来てくれた日本人留学生(1名韓国人)の方たちとも仲良くなり今でも連絡を取っている所以他では得難いものを得ることができた。来年は研修に参加する人が増えればいいと思う。

私は「你好」「谢谢」レベルの中国語しか聞き取れないまま中国へ飛び立った。中国語のアプリで、ある程度勉強していったつもりだったが、いざ現地の中国人と話すとなると全く単語が出てなかった。そんな私は中国語をしっかりと学んでいかなかった洗礼を初日から受けることとなった。中国研修に参加したのは5人だった。しかし、寮は2人部屋だったため、1人は全く知らない人と同じ部屋になる。私は、せっかく中国まで来たので、違う国の人と仲良くなれるチャンスだと思って1人になることを選んだ。同室の子はラオス人の19歳の女の子だった。初日の夜、同室の子がタイ人の友達2人を私たちの部屋に連れてきた。初めは英語で話していたのだが、3人も私も英語が堪能というわけではなかった。その3人の共通語は中国語だったので、部屋には次第に中国語が多く飛び交い私は三人が話している内容が全く理解できなかった。楽しそうに話しているのをみると、中国にせっかく来たのに聞き取れない自分がすごくもどかしく、せっかく他国の人と仲良くなれるチャンスを棒に振ってしまつてとても後悔した。中国語を聞き取れて話せるようになりたいと強く感じ、2週間しかない授業を頑張ろうと思えたので、ある意味良い洗礼ではあった。

授業は、スピーキング、ライティング、リスニング、グラマーの4つであった。スピーキングの授業では、Wechat(日本でいうLINE)のボイスメッセージの機能を使用して中国語の発音を送る宿題があった。まず、クラスのWechatのグループに先生が入っていることに驚きだが、それを活用して宿題を出すというのはすごく新鮮だった。私は、課題に出された単語の発音をグループチャットに送るのは恥ずかしさもあり少し抵抗があった。しかし、先生が1人1人に細かくアドバイスを送ってくださるので、授業では行き届かないところまでしっかりと発音の矯正をすることができた。

また、万里の長城に行く際にも、中国においてのWe chatの重要さを感じた。万里の長城へは、タクシーで行ったが、日本と比べるととても格安で、片道(2時間強)を300元(約4500円)で行くことができた。運転手さんはもちろん中国の方で、日本語はもちろん英語も話せなかった。そこでどうしたかというと、Wechatを交換してでのコミュニケーションだ。日本ではタクシーの運転手と連絡先を交換することなど考えられないが、私たちが乗ったタクシーの運転手さんは慣れたようにWechatの交換を求めてきた。おそらくこの仕事をするなかで、外国人観光客とのコミュニケーションの図りかたを模索した上での結果だと思う。運転手さんは、翻訳アプリで日本語に翻訳した文章を送って来てくれたので日本語でやりとりをした。運転手さんは万里の長城まで送り届けてくれただけでなく、中国語がろくに話せない私たちに、到着後もロープウェイと万里の長城の入場のチケットを買うところまで手伝ってくれた。正直なところ中国人に対してそこまで良いイメージを持っていなかったこともあり、とても優しくしてくださったことは本当に感謝してもしきれない。

中国で過ごした時間は本当に楽しくて、見るもの・食べるもの・聞くものすべてが新鮮であつという間の2週間であった。（まさかの、中国でのたこ焼き作りは、本当に関西人としては良い経験だった。）また、現在でも連絡を取っているほど仲良くなった中国人の友達もでき、人生においてとても刺激的で貴重な体験となった。中国語を学びに長期で中国に行きたいと考えるほどまでに、この2週間はたくさんの実りのある研修になった。さらに、実際に中国人の優しさや温かさなどを肌で感じたことで、中国人に対するマイナスなイメージが払拭され、むしろ今では中国も中国人も大好きだ。もし、中国研修に少しでも興味がある人は是非中国に行くべきだと私は思う。

本来ならここまでで、レポートを終わらすのが一般的だが、もう一つだけエピソードを書きたいと思う。

帰国する2日前、中国での生活にも慣れて、色々と油断していた頃だ。その日事件はおきた。北京の観光地、頤和園に行ったときのことである。ある一角で、文字を、中国風な竹や鳥などで表現しアーティストティックに描いている人がいた。1文字20元（約300円）、と言われたので思っていたより安いと思ってフルネームを描いてもらうことにした。すると、文字を描き終わった後、店員さんに「このままでは文字が消えるからラミネートが必要」だと言われ、128元（約1920円）と82元（約1230円）、どちらかのラミネートの選択を迫られた。そのうえ128元の方には文字を書いた紙をしまう箱もついてくると言われた。店員が128元のラミネートを買わせたいと思っていたのがものすごく伝わってきた上に、ここで買ってしまったら店員の思うツボだと思った。完全にこれは詐欺だと気づいていたが、やはり値段が高い方が肌触りも良く質が良かったので128元の高いラミネートを購入することにした。結局私は20元×4文字+128元=208元を払った。後出しじゃんけん方式で詐欺にかけてくるなんて、やり方が本当に姑息である。しかし、今となっては不可抗力で詐欺に遭った話は良いお土産話である。

次回の中国研修に行かれる方へここで最後に伝えたいことが一つ。

最終日まで気を抜かないで下さい。

中国研修レポート

9月10日から9月24日の2週間、中国伝媒大学へ研修に行きました。

私が研修に参加した理由は、海外に行ってみたかったからです。中国がどんなところか関心がありました。ですが、第二外国語では中国語ではなくドイツ語を履修していました。中国語は中国に行くと思った日から2ヶ月くらい少し勉強したくらいでした。だから中国語は全く話せません。そして英語もあまり話せません。自分の語学能力は深刻に考えず軽い気持ちで行ってしまいました。ですが後々になってこの気持ちは変わりました。

まず北京は、とてもいいところです。私自身、これが初海外でしたが、失敗談も含め、楽しい思い出がたくさんあります。そのことを伝えようと思います。

普段平日は、午前中は中国語の授業がありました。みんな一番下のコースでした。50分の授業が2コマあり、リスニングやライティングなどをやります。クラスにはいろんな国の人がいきました。先生もクラスメイトも休憩時間に英語で会話していて、英語は本当に頑張るべきだと切実に感じました。積極的な人が多かったです。授業は英語で行ってくれる先生もいて助かったし、中国語の歌を歌ったりして楽しかったです。

平日の午後や土日は自由で、ほとんど出かけました。万里の長城や南羅鼓巷、天壇公園、王府井などに行きました。楽しかったです。残念だったことは天安門と故宮に行けなかったことです。中華人民共和国成立70周年で、いろんな式典の準備とかがあるようでした。地下鉄は天安門駅を素通りしたり、地下鉄自体が休みだったりして、移動に困ったりもしました。毛沢東を拝みたかったです。次回の楽しみにとっておこうと思います。

中国の食べ物はおいしかったです。大学の食堂では、タピオカがおいしかったし、麺類頼んだら熱い小鍋ごと出てきました、しかも辛いし、でもおいしかったです。時々はずれはあるけど、中国の味を感じてきました。他にも、小籠包、餃子、火鍋などいろいろな料理を食べました。北京ダックは3回も食べることができました。日本語学部の学生の方と食事もしました。

私は一つ後悔していることがあるのですが、それは、WeChatが使えなかったことです。WeChatは日本のLINEのようなもので中国での大事な連絡手段です。私の場合は、インストールして、1日目は無事使えていたのですが、なぜか2日目にしてアカウントブロックされました。なんでよ。だから、中国でできた友達と連絡先を交換できませんでした。悔しいです。

研修に参加して、参加する前より中国への関心が強くなりました。日本にいると気づけなかったことがたくさんありました。自分の世界がどれほど狭かったのかという

ことが分かります。授業で語学の理解も深まったので、中国語の勉強を続けていきたいと思いました。次回も機会があれば参加したいです。天安門と故宮を絶対見る。そして何より WeChat をちゃんと使えるようにして、リベンジしたいです。